



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 袖山 英則 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,428	△6.6	315	△10.1	288	△9.2	190	△10.3
28年3月期第3四半期	9,026	△0.6	350	204.9	317	286.3	212	853.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 194百万円 (△7.4%) 28年3月期第3四半期 210百万円 (621.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	30.41	—
28年3月期第3四半期	33.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	6,119	1,731	28.3	276.82
28年3月期	6,582	1,537	23.4	245.74

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,731百万円 28年3月期 1,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.9	270	△14.0	200	△26.1	100	△27.9	15.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	7,275,000株	28年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,018,908株	28年3月期	1,018,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	6,256,092株	28年3月期3Q	6,257,395株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、一部では企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いておりますが、米国大統領選挙以降の動向、中国をはじめとした新興国経済の減速などによる不安定な世界経済などの影響を受け、先行き不透明感が強まっております。また、個人消費の拡大に対する期待感はあるものの、税及び社会保険料の負担増による実質所得の伸び悩みや節約志向の継続から個人消費マインドは減退傾向にあり、本格的な安定成長を実感するまでには至っておりませんが、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは「一人一人が知恵と力を尽くし、一步前進する」を年度スローガンとし、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,428百万円（前年同四半期比6.6%減）、営業利益は315百万円（前年同四半期比10.1%減）、経常利益は288百万円（前年同四半期比9.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は190百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりましたが、受注の減少により売上高は5,033百万円（前年同四半期比6.4%減）となり、営業利益は330百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、昨年4・5月に開催された長野市の善光寺御開帳にて売上が大幅に伸びた「善光寺旬粋店」の前年度の反動及び秋季・年末における入込客の減少が影響し、売上高は995百万円（前年同四半期比25.9%減）となり、営業利益は22百万円（前年同四半期比78.3%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりましたが受注が伸びず、特に前年度の善光寺御開帳関連商品分が大幅に減少しましたが、長野県外への販売機能を機動的に行うために前年第3四半期よりみやげ卸売部門から当みやげ製造部門へ移管したことによる売上高は175百万円（前年同四半期比242.2%増）、営業利益は18百万円（前年同四半期比56.4%減）となりました。

④温泉施設事業

温泉施設事業は、各種イベントを積極的に企画・情報発信・実施すると同時に、接客・サービスのレベルアップ並びに各施設においてリピーターの増加に努めた結果、売上高は1,264百万円（前年同四半期比0.3%増）となり、営業利益は一部原価の低減により54百万円（前年同四半期比227.1%増）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は81百万円（前年同四半期比0.1%減）となり、営業利益は修繕費の大幅な減少により35百万円（前年同四半期比25.0%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。またユーザーに合わせた各種情報の収集とSNS等による情報発信を積極的に行いましたが、売上高は466百万円（前年同四半期比2.4%減）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の減少により24百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりましたが、売上高は413百万円（前年同四半期比5.5%減）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の減少により35百万円（前年同四半期比90.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円(9.9%)減少いたしました。これは主に現金及び預金が608百万円の減少、商品及び製品が204百万円、受取手形及び売掛金が138百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円(4.9%)減少いたしました。これは主に有形固定資産が107百万円、投資その他の資産が76百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は6,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ462百万円(7.0%)減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ521百万円(16.7%)減少いたしました。これは主に短期借入金が633百万円の減少、支払手形及び買掛金が196百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円(7.1%)減少いたしました。これは主に長期借入金が132百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ657百万円(13.0%)減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円(12.6%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益190百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.3%(前連結会計年度末は23.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日開示の平成28年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,374,658	766,534
受取手形及び売掛金	788,983	927,202
商品及び製品	480,211	684,705
原材料及び貯蔵品	76,684	77,397
その他	76,205	63,998
貸倒引当金	△2,343	△2,859
流動資産合計	2,794,399	2,516,979
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	969,288	894,994
土地	1,004,650	1,004,650
その他(純額)	270,108	237,030
有形固定資産合計	2,244,047	2,136,674
無形固定資産	67,852	66,751
投資その他の資産		
敷金及び保証金	929,642	858,472
その他	562,077	556,973
貸倒引当金	△15,428	△15,937
投資その他の資産合計	1,476,291	1,399,508
固定資産合計	3,788,191	3,602,934
資産合計	6,582,590	6,119,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,312	652,838
短期借入金	2,203,907	1,570,583
未払法人税等	85,835	53,835
賞与引当金	49,596	21,865
返品調整引当金	4,518	3,436
ポイント引当金	11,893	12,455
その他	315,830	291,634
流動負債合計	3,127,895	2,606,649
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,330,723	1,198,576
役員退職慰労引当金	69,104	68,029
資産除去債務	345,242	350,709
その他	72,271	64,163
固定負債合計	1,917,341	1,781,478
負債合計	5,045,236	4,388,128

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	37,716	227,975
自己株式	△200,344	△200,344
株主資本合計	1,545,690	1,735,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,336	△4,164
その他の包括利益累計額合計	△8,336	△4,164
純資産合計	1,537,353	1,731,785
負債純資産合計	6,582,590	6,119,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,026,954	8,428,741
売上原価	6,715,350	6,253,745
売上総利益	2,311,603	2,174,996
販売費及び一般管理費	1,961,065	1,859,725
営業利益	350,538	315,270
営業外収益		
受取利息	6,110	5,383
受取配当金	587	600
受取事務手数料	2,533	1,554
その他	8,008	8,122
営業外収益合計	17,240	15,661
営業外費用		
支払利息	48,886	41,755
その他	1,168	733
営業外費用合計	50,054	42,488
経常利益	317,724	288,443
特別利益		
固定資産売却益	596	276
特別利益合計	596	276
特別損失		
固定資産売却損	—	538
特別損失合計	—	538
税金等調整前四半期純利益	318,320	288,181
法人税、住民税及び事業税	81,456	81,116
法人税等調整額	24,696	16,806
法人税等合計	106,152	97,922
四半期純利益	212,167	190,258
親会社株主に帰属する四半期純利益	212,167	190,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	212,167	190,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,105	4,172
その他の包括利益合計	△2,105	4,172
四半期包括利益	210,062	194,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,062	194,431
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	5,375,454	1,343,464	51,231	1,260,633	81,131	477,829	8,589,744	437,209	9,026,954	—	9,026,954
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	156,037	—	424,381	—	18,055	—	598,474	310,325	908,799	△908,799	—
計	5,531,492	1,343,464	475,612	1,260,633	99,186	477,829	9,188,218	747,535	9,935,753	△908,799	9,026,954
セグメント 利益	345,540	105,061	43,338	16,812	28,300	23,830	562,884	18,922	581,807	△231,269	350,538

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	5,033,280	995,394	175,324	1,264,202	81,011	466,460	8,015,673	413,067	8,428,741	—	8,428,741
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	142,797	—	242,773	—	18,000	—	403,570	303,316	△706,887	△706,887	—
計	5,176,077	995,394	418,097	1,264,202	99,011	466,460	8,419,244	716,384	9,135,628	△706,887	8,428,741
セグメント 利益	330,152	22,836	18,890	54,992	35,375	24,411	486,658	35,976	522,635	△207,364	315,270

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動(平成29年1月1日付)

新任代表取締役社長 久保田 一臣 (前 取締役)

退任代表取締役社長 久保田 知幸 (現 取締役会長)

②その他役員の変動(平成29年1月1日付)

常務取締役 宮尾 聡 (前 取締役)

取締役 久保田 恵一 (前 取締役会長)

(注) 詳細につきましては、平成28年12月12日公表の「代表取締役及び役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。